

日医ニュース

No. 1337
2017. 5. 20JMA 日本医師会
Japan Medical Association〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代) / FAX 03-3946-6295
E-mail wwwinfo@po.med.or.jp
<http://www.med.or.jp/>

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円 年(郵税共)

- 横倉会長
未来投資会議に出席 3面
● 定例記者会見 4面
● 特別版
都道府県医師会だより 6面

特別対談 横倉義武 会長 岩尾總一郎 日本尊厳死協会理事長

穏やかな終末を迎えるためにもリビングウィルの作成を

山本 私が初めて、リビングウィルという言葉を知ったのは、東海大学安楽死事件の判決が出た1995年でした。その時はまだ高校生で、進路を考える時期だったのですが、人がどうやって死を迎えるかということを、青春期ながらにすごく身に染みて感じた事件でした。

あれから20年以上が経ちますが、このリビングウィルという言葉は、今まで何度も岩尾理事長にお話を伺わせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願いします。

まず、岩尾理事長にお聞きしたいのですが、超高齢社会の到来であったり、寿命の伸長などから、國民の終末期医療に関する意識も変化してきてい

す。

ます。

山本 横倉会長は訪問

します。

山本 海外でも国によ

ります。

山本 日医では、これ

まで4回にわって、会

ます。

山本 高齢者です、自

り

れ

を

日本

の

社会

が

少

い

な

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

(1面より)
かないですよね。**横倉** そうですね。身

近でそういうことがあると、「あつ」と思うんですけどね。だから、自分で意識をした時に、そういったことを考える必要があると思いますね。

山本

QOL(生活の質)の次は、QOD(死の質)という話も伺いましたが。

横倉 患者さんに対する医師の最後の仕事といふのは、いかに最期を見取るのかということですね。最期を見取る時に何を考えなければいけないか**横倉** という、いかに本人が望まれるような尊厳のある死というものを迎えるかということだ**横倉** うとうと、いかに本人が**横倉** 患者さんの残されたご家族の方も含めてといふことですか。**横倉** そうですね。家族の方に、ご両親なり、祖父母なりを本当に安らかに見送って頂く状況をつくるしていくというのが大事だと思っています。**横倉** 患者さんが選択されたとおりに看取ることができても、やはり残された者遺族は、「これまで良かったのかな」と**横倉** 思うところがあると思うのですが、その辺りの話をされたときに看取ることができても、やはり残された者遺族は、「これまで良かったのかな」と**岩尾** 現在、厚生労働省ではありますか。**岩尾**

現在、厚生労働



いわお そういちろう
岩尾 総一郎
日本尊厳死協会理事長

1973年慶應義塾大学医学部卒業。同大学院にて医学博士号取得後、テキサス大学留学。産業医科大学助教授を経て、1985年厚生省入省。2003年厚生労働省医政局長に就任し、2005年に退官。その後世界保健機関(WHO)健康開発センター所長などを歴任し、2012年6月から現職。

全国でも実施されていますが、その内容は、医療関係職種の方々を対象に、終末期をどう看取るか、また家族にどのように説明すべきか、というような講習会を行っていると聞いています。

考え方によっては、医療関係者には必要なものではないかと思います。

一方で、医療関係者には必要なものではないかと思います。

医療関係者には必要なものではないかと思います。



穏やかな終末を迎えるために

山本 どうにもしようがないことがありますけれどね。

では、今後、日医どして、このリビングウィル、終末期医療に対して、どのような取り組みを考えていますか。

横倉 多くの国民の皆

さんに、できるだけリビ

いのか質問をされた場合

に、きちんと答えられる

ようにしていきたいと思

ます。

山本 日本尊

厳死協会が作成

しているリビン

グウィルの「尊

厳死の宣言書」

は、どうしたら

入手できるので

ですか。

岩尾 私ども

の協会に請求頂

ければ、申込書

をお送り致しま

すので、お問い合わせ頂ければ

と思います。

横倉 ホーム

ページからもダ

ウンロードでき

るのですよね。

はい。

岩尾 便利ですね。

それは

たように、これ

だけ高齢の方々

が増えてきて、

お亡くなりにな

山本 どうにもしようがないことがありますけれどね。

では、今後、日医どして、このリビングウィル、終末期医療に対して、どのような取り組みを考えていますか。

横倉 多くの国民の皆さんに、できるだけリビ

いのか質問をされた場合

に、きちんと答えられる

ようにしていきたいと思

ます。

山本 そうですね。

かかりつけ医も

だいぶ普及してきま

すし、看取って頂く先生

の数も随分増えてきたと

思うので、私どもとして

は何かあつたら救急車を

呼ぶのではなく、かかり

急救車を呼ぶと、彼ら

は救命救急をするのが仕

事ですから、日本人が静

かに最期をと思っていて

も、そこにご本人の意思

との乖離(かいり)が出てくる。

昔から診てもらっている

あるいはその地域

で診てもらっているかか

りつけ医の先生に連絡す

れば、これはもう症状と

しては死に至るプロセス

なんだ。そういう時で

あれば、この程度の治療

ではないかということだと

思います。

横倉 岩尾 横倉会

長がおっしゃつ

たように、これ

だけ高齢の方々

が増えてきて、

お亡くなりにな

る方々が増えてきますと

最期をどこで迎えるの

か、病院の数も限られて

いる、施設の数も限られ

るとなると、自宅でとい

う話が多くなる。そうな

う話をかりつけ医の先

生が訪問看護ステーション等と連携をとりなが

ら、その人が住み慣れた

環境の中で最期を看取っ

てあげるというのが、一

番自然なのだと思いま

す。

山本 そうですね。

かかりつけ医も

だいぶ普及してきま

すし、看取って頂く先生

の数も随分増えてきたと

思うので、私どもとして

は何かあつたら救急車を

呼ぶのではなく、かかり

急救車を呼ぶと、彼ら

は救命救急をするのが仕

事ですから、日本人が静

かに最期をと思っていて

も、そこにご本人の意思

との乖離(かいり)が出てくる。

昔から診てもらっている

あるいはその地域

で診てもらっているかか

りつけ医の先生に連絡す

れば、これはもう症状と

しては死に至るプロセス

なんだ。そういう時で

あれば、この程度の治療

ではないかということだと

思います。

横倉 岩尾 横倉会

長がおっしゃつ

たように、これ

だけ高齢の方々

が増えてきて、

お亡くなりにな

る方々が増えてきますと

最期をどこで迎えるの

か、病院の数も限られて

いる、施設の数も限られ

るとなると、自宅でとい

う話が多くなる。そうな

う話をかりつけ医の先

生が訪問看護ステーション等と連携をとりなが

ら、その人が住み慣れた

環境の中で最期を看取っ

てあげるというのが、一

番自然なのだと思いま

す。

山本 そうですね。

かかりつけ医も

だいぶ普及してきま

すし、看取って頂く先生

の数も随分増えてきたと

思うので、私どもとして

は何かあつたら救急車を

呼ぶのではなく、かかり

急救車を呼ぶと、彼ら

は救命救急をするのが仕

事ですから、日本人が静

かに最期をと思っていて

も、そこにご本人の意思

との乖離(かいり)が出てくる。

昔から診てもらっている

あるいはその地域

で診てもらっているかか

りつけ医の先生に連絡す

れば、これはもう症状と

しては死に至るプロセス

なんだ。そういう時で

あれば、この程度の治療

ではないかということだと

思います。

横倉 岩尾 横倉会

長がおっしゃつ

たように、これ

だけ高齢の方々

が増えてきて、

お亡くなりにな

る方々が増えてきますと

最期をどこで迎えるの

か、病院の数も限られて

いる、施設の数も限られ

るとなると、自宅でとい

う話が多くなる。そうな

う話をかりつけ医の先

生が訪問看護ステーション等と連携をとりなが

ら、その人が住み慣れた

環境の中で最期を看取っ

てあげるというのが、一

番自然なのだと思いま

す。

山本 どうにもしようがないことがありますけれどね。

では、今後、日医どして、このリビングウィル、終末期医療に対して、どのような取り組みを考えていますか。

横倉 多くの国民の皆

さんに、できるだけリビ

いのか質問をされた場合

に、きちんと答えられる

ようにしていきたいと思

ます。

山本